

議会だより

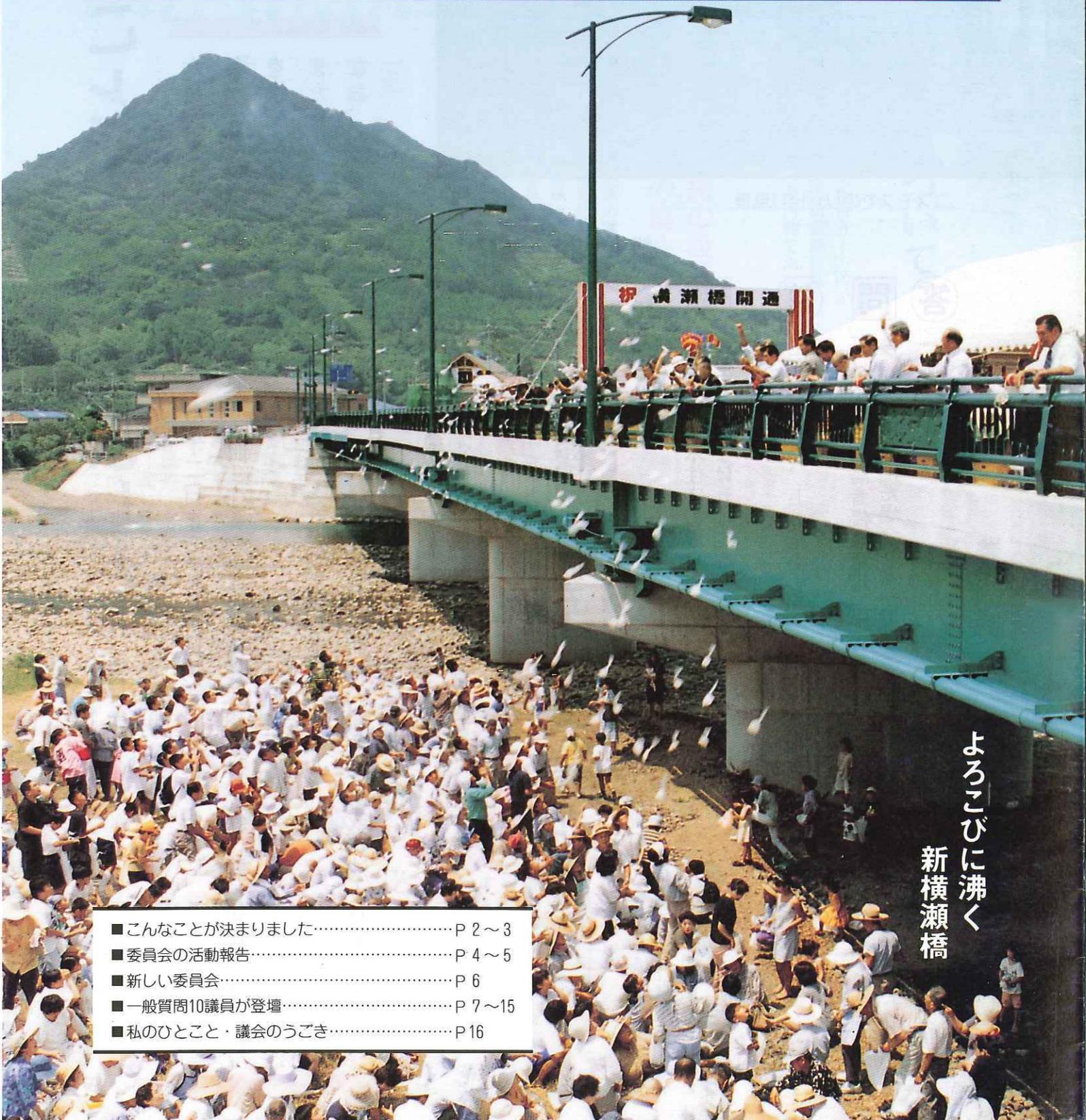
かつら

No.

4

1998.8.15

いきいきとした 町づくりを めざして



よろこびに沸く
新横瀬橋

- こんなことが決まりました…………… P 2～3
- 委員会の活動報告…………… P 4～5
- 新しい委員会…………… P 6
- 一般質問10議員が登壇…………… P 7～15
- 私のひとこと・議会のうごき…………… P 16

こんなことが決まりました

六月定例議会は、六月九日から二十二日までの十四日間開かれました。条例の改正や工事請負契約締結、補正予算など五議案と人事案件一件、議員提出議案一件を慎重に審議し可決しました。

また十人の議員が一般質問で町の考えをただしました。

なお、副議長、常任委員会委員のメンバーが変わり新しい議会の構成が決まりました。



コスモスでのリハビリ風景

一般会計補正予算

玉ノ木住宅二戸分三千百三十六万九千円など

一億五百八万九千円を追加

総額四十一億五千八百八万九千円に

〈主な質疑〉

問 今ある玉ノ木住宅の取りこわしについては、完全解決でなければ工事発注はしないようにできるか。

答 完全解決の後、工事発注する。

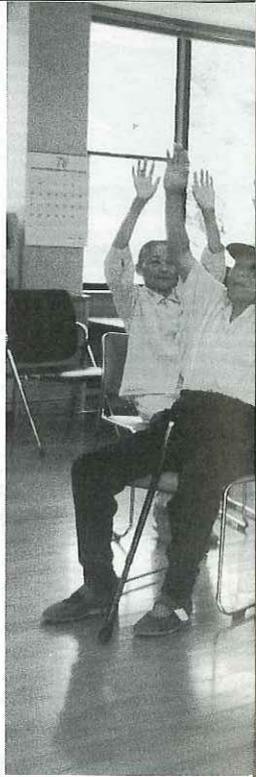
問 玉ノ木住宅入居者優先は理解できるが、その後、空き室が出た場合は、一般公募するのか。

答 一般公募する。

ついに
九億円超す

老人保健特別会計補正

一千二百三十七万五千元を追加し、総額九億六千四百二十二万二千円になりました。勝浦町の九年度未受給者数は、一千二百九十二人に達しています。



新前川橋来年三月完成

工事請負契約を可決

平成十年度農村総合整備事業集落道四号線

(橋りょう)

五千三百二十三万五千円でオーエム工業株式会社が落札しました。

議員提出議案

地方分権の推進を求める意見書

要旨

少子、高齢化社会の到来で医療年金制度と地方自治の福祉行政の密接な連携が求められます。

地域に密接する行政は、当然地方自治体で行うべきであり、自治体に応じた行政サービスを行うべきであります。



副議長に神原 忍議員

どうぞよろしく

六月定例議会で副議長に就任いたしました。

皆様の声が十分反映される議会運営に、浅学非才、微力ではありますが一層の努力を致したいと思っております。

皆様方のご指導、ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

第二回臨時議会

一人当たり 国保税は据え置き

所得割は一・四％引き上げ

五月二十九日に開催された臨時議会では、国民健康保険税条例の一部改正など五件の議案を審議し全員一致で可決しました。

〈主な質疑〉

◆国保税条例の一部改正

所得割税率を七・二％から八・六％へ引き上げるとともに、資産割（五十七％）、均等割（一人二万六千円）、平等割（二世帯三万二千元）は、据え置くという内容。

問

所得割を一・四％も引き上げる理由は。

答

不況等により課税所得が一億四千万円も減少したため。

問

基金、繰越金を投入し、税率引き上げをやめるべきではないか。

答

平均一人当たりの国保税で見ると、九年度とほぼ同額。減税すると、国からの特別調整交付金一千万円が受けられなくなる。

人権擁護委員に

三溪

堀 毅男氏

沼江

中西 正氏

の選任に同意

総務

もうちょっと待って!!

町の救急患者輸送車

六月五日、委員会を開き、救急患者輸送車の件と常備消防について審議しました。

救急患者輸送車問題

問 救急患者輸送車を日乃峰タクシーに委託してからの利用状況はどうか。

答 事故等が減ったのではないと思うが、利用者は半減している。

問 今後の患者輸送車の経費は、また、町長の救急体制の考えは。

答 救急患者輸送車の委託経費は、町内の別業者の見積りで今までの二倍以上になる見込みだが、町内業者で対応し、将来は常備体制にしたい。

常備消防体制について

問 救急車だけの常備体制はできないのか。

答 交付税措置の関係で、救急車と常備消防とは切り離すことはできない。

問 上勝町の考えは。

答 「住民の理解が得られない」とのこと、最後の一町村になっても常備化はしない方針である。

問 消防団員の理解は。

答 本団役員とは協議してきた。常備化を推進したいとの考えである。

問 他町の村の委託料と比べ高くないのか。

答 高い町村、安い町村それぞれある。

常備消防とは

常勤職員による消防、救急体制であり県下で常備化していないのは、六町村である。勝浦、上勝、上那賀、佐那河内、木沢、木頭

産業建設

みかん緊急対策はどうなったのか？

六月三日、委員会を開き、畑総の借入金問題、米の減反、フライトパーク規則などを審議。みかん販売実績、長者ヶ原への産廃投棄などの報告を受けました。

畑総借入金の借り替えは

理事者 今までの年利六%を二・一%に借り替える。十年間で三千万円の負担軽減ができる。
委員 低利率への借り替えは、全体的に取り組むべきだ。

フライトパーク関係

理事者 施設の使用料は無料、施設の管理は森林組合に、飛行管理は徳島スカイスポーツクラブに委託する。
委員会指摘 規則の中へ「使用中の事故については責任は負わない」の一項を入れること。

みかん販売関係

問 町長は「価格暴落の緊急対策を」と本会議で答弁したのにならったのか。

答 財源問題など検討中、市況の回復もあり時期を失した。

委員 ・販売戦略が重要だ。
・総合的な農業振興対策を検討する組織づくりが急がれる。

長者ヶ原産廃棄物投棄

問 法的に問題はないのか。

答 昨年までは、三千平方メートル以下の場合、灰を捨てなければ法的に問題はない。
委員 進入路のいたみ、飲料水への影響など現場の対応が必要だ。
—その後、長者ヶ原と完成したフライトパークを視察しました。—



完成したフライトパーク



町営住宅 建築費は適正か？

五月二十日、委員会を開き、国民健康保険条例の一部改正、町営住宅建築、沼江地区の悪臭公害陳情の件など、十件の報告並びに協議事項を審議しました。

国民健康保険税関係

問 町の保険税は、県平均より高くないか。

答 平成八年度で、県平均一人あたり七万七千四百七十九円、勝浦町は七万一千九百四十三円で、五十市町村中二十八番目である。

問 応能割、応益割を五十対五十にする努力をしてきたのではないのか。

答 不況等で所得が減っているのでも得ない。

中角町営住宅問題

問 建築費が坪当たり七十万円というのは高すぎるのでは。

答 国の基準単価なので、どうしても民間のものより高くなるのと、建坪が二十一坪と狭いので割高になる。

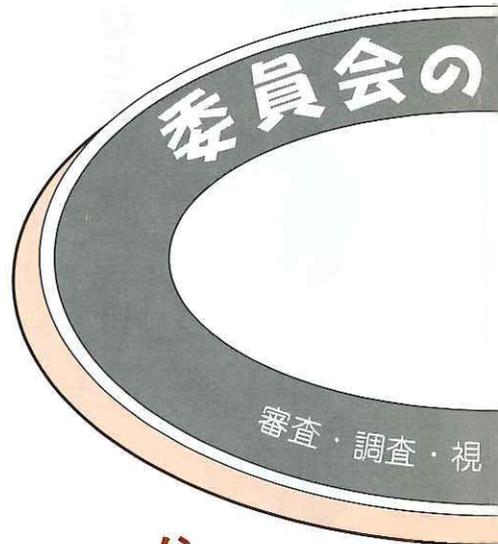


中角町営住宅 建築費は適正か？

沼江地区悪臭の陳情について

理事者 「地元と業者の悪臭公害の協定書作成については、行政は仲介できない」との考え方が示されました。委員会としては、今後も継続して審査することになりました。

応能割とは
納税者の経済的能力に相応した税負担（所得割、資産割）
応益割とは
納税者の受ける利益に応じた税負担（均等割、平等割）



議会広報

住民参加による広報づくり

——七月二日稲美町訪問——

稲美町は兵庫県南部に位置し、神戸、明石、加古川、三木市に囲まれ、特産米生産のほか住宅や工業の供給地として発展しています。

議会広報は昭和五十六年五月創刊、現在まで六十九号を数えています。この間、兵庫県議会広報コンクールに幾度となく入選し、平成九年度には町村議会全国コンクールにおいて優秀賞を受賞するなど、すばらしい実績を挙げています。「住民に親しまれる議会だよりを目ざし、住民は何を知りたいかを中心に関心のある記事は質疑や討論を載せる。たくさんの方の住民に登場してもらい、住民と議会がより身近な接点を得る」という方針のもと、今までの結果を知らせる広報から経過を知らせる広報へと改善を図っています。

ちなみに議会だより「かつうら」創刊号についての感想として

○一般質問が多く、質問報告書のよう
だ。
○空間を作り、紙面にゆとりを持たせてもよいのではないか。
等が指摘されました。
今後は住民参加による広報の取り組み



広報編集の研修会（稲美町にて）

みを参考にし、より親しまれる広報づくりに委員一同心新たにしました。
徳島、兵庫がすばらしい橋で結ばれた以上に、共通認識を持つ議員仲間としての親睦も図られ、大変有意義な視察でありました。

新しい委員会

総務常任委員会

(企画、財政、税務、教育などを調査・審査)



福徳重二委員長



森 健副委員長



末広正太郎委員



押兼義雄委員



井出幸夫委員

厚生常任委員会

(社会福祉、環境衛生などを調査・審査)



溝田義昭委員長



森 敏治副委員長



宮本久治委員



西濱勝己委員



滝口良一委員

産業建設常任委員会

(農業振興、県道、町道の整備などを調査・審査)



国清 栄委員長



筈 源一副委員長



神原 忍委員



山田昌男委員



原田昭三委員



中西晴美委員

議会運営委員会

委員長

西濱勝己

副委員長

山田昌男

委員

国清 栄

森 健

神原 忍

中西晴美

特別委員会

勝浦川整備促進

委員長 己夫栄二
副委員長 勝幸重
委員 濱出清徳、本田西、西井国福、森宮原中

東部広域農道整備促進

委員長 美雄昭治
副委員長 晴義敏正
委員 中押溝、森神末、西栗田、原広濱

議会広報調査

委員長 己勝忍
副委員長 西濱勝己
委員 神原清、溝田義昭、井出幸夫

畜産公害と環境整備は

宮本久治 議員



問 畜産団地豚舎浄化処理槽の完了時期と入札に
関しての町の対応は。

答 戸川産業振興課長 工事に一部不備があり補修している。今週中に完成し、六月末頃に運転開始する。

町は処理能力面での設計、業者の紹介等である。工事費は全額メーカー負担で、町からは支出していない。

問 生名畜産公害に対する陳情採択後、町は関係

する農家と話し合いはしたのか。

答 早川助役 担当課長の最近の接触では、団地に入植する考えは持っていないとの話は聞いている。

答 川口町長 六月議会終了後、早い時期に話し合いを希望对応したい。

問 入植していない農家に
対し苦情等は来ている
いか。また、その農家の牛糞
はどのように処理されている
のか。この件に関して県家畜
保健衛生所が指導したと聞く
が、報告があったのか。また、

その内容は。

答 桂木環境課長 四月一日に環境課に就任以来そのようなことは聞いていない。

答 戸川産業振興課長 牛糞については自家処理されている。保健所から町に對しての報告義務はないが、直接担当者から保健所に問い合わせた。保健衛生に十分注意して飼うように」という一般的な指導であったと聞いている。

問 畜産団地の牛舎が現在一棟空き家になっ

新横瀬橋開通記念行事と

旧橋撤去は

節 源一 議員



問 開通式の日程とイベントは。

答 秋本土木課長 開通式は八月三日。イベント等については、関係地元役員、議員と協議し取り組んでいきたい。

問 旧橋はいつ撤去するのか。

答 秋本土木課長 撤去は原則的には一年以内となる。

高瀬舟記念碑の

建設費は

問 高瀬舟発着地の史跡記念碑建設に対し、県、

町が全額負担してもらえないか。

答 松浦教育長 財政的に厳しい時なので、地元負担金や有志の方にお願いであれば幸いと思うが、検討課題としたい。

答 川口町長 意をくんで財政当局ならびに県とも話し合っており、よい方向に努力してみたい。

不況に伴う雇用、

失業対策は

問 不況による失業が増加しているが、今後の取り組みは。

答 戸川産業振興課長 町誘致企業の相次ぐ閉鎖など厳しい状況は認識している。国の施策に期待しながら、農業を中心とした地場産業の育成、閉鎖工場の跡地利用等で雇用の場の創設、また操業している企業の条件整備も必要と思う。

青少年非行防止の

取り組みは



健全な青少年育成などの啓もう運動

問 暴力、薬物乱用、学生
のナイフ所持など青少年
の犯罪が増加している。健
全な青少年育成のため、町は
どのように取り組んでいるの
か。

答 松浦教育長 各種のパンフレットなどを各学校、PTA、家庭に配布、掲示等して徹底をお願いしている。

ると聞くが、その責任と問題は。

答 戸川産業振興課長 団地の空き家について補助金には問題がある。

答 川口町長 行政的責任はある。

柳原周辺道路改良

県の対応に怒り

福徳重二 議員



河川に影響しない方法で、拡幅・かさ上げ計画を再度県に要望

(川口町長)

問 今山橋下流域の県道徳島―上那賀線で、柳原

周辺は「河川ではできないが、道路での抜本的な見直しをするための調査を進めている」との県の意向であった。その後、調査結果が出るのが遅い。あまりにも遅い結果待ちに怒

りをおぼえる。町は、その後、県と接触をしたのか。積極的に働きかけをした事実はあるのか。

答 早川助役 水問題も含めた道路の抜本的な改修を求める町の要望と、県の考えに手違いがあり、まだ検討されていない。

問 町の取り組みに積極性がなさすぎる。

答 川口町長 要望にそつた形で、河川に影響のない方法で、道路の拡幅・かさ上げの改良計画を再度県に要望した。

里道(赤線)が町管理になればメリットは

問 市町村道以下の規模で地域の生活道路に使われている里道や用水・ため池は、建設省が管理をしていたものを無償譲与し、市町村管理となる。管理や事故が起きたときの責任が明確になり、民有地との境界確定する手続

きが簡単になると国はいつているが、メリットはあるのか。又デメリットは。

答 秋本土木課長 予算、人員が伴ってくるので、メリットよりデメリットの方が多くなる。

問 改良する場合、町単独工事の扱いができるのか。管理に伴う予算・人員は十分と思うか。

答 早川助役 現状のままでは町単独扱いはできない。予算、人員は十分とはいえない。

問 用地買収交渉の進捗状況はどうか。

答 秋本土木課長 このほど地権者のご理解とご協力により、すべて用地買収交渉は完了した。

掛谷谷川改修・用地買収交渉 六月中旬に



改修予定の掛谷谷川

問 用地買収交渉の進捗状況はどうか。

答 秋本土木課長 このほど地権者のご理解とご協力により、すべて用地買収交渉は完了した。

問 橋の本体工事はいつごろとしかかるのか。また、橋の完成予定はいつごろか。

答 秋本土木課長 本体工事は今山側から平成十四年度と想定している。

今山橋

平成十四年完成

問 今山橋架け替え

で今山側取り合



改築が予定されている今山橋

一般質問

財政の健全化対策を問う

森 敏治 議員



問 町財政が健全かどうかを見る指標から、現在の財政状況の認識と将来の見通しは。

答 滝花企画財政課長の比率は、平成九年度の

| | |
|--------------------------|---------|
| ◎財政力指数 (1に近いほど財政力が強い) | 0.21 |
| ◎経常収支比率 (低いほど弾力性がある) | 82.2% |
| ◎公債費比率 (一般財源に占める割合) | 17.5% |
| ◎公債費比率 (債務負担行為を含む) | 18.8% |
| ◎起債制限比率 | 11.9% |
| ◎地方債残高 (町の借入金) | 61億7千万円 |

末の概数であるが、厳しい財政状況で、特に多額の地方債残高があり、当分厳しい状況が続くものと考ええる。

問 企画財政課は、各課との調整的な役割もあり、就任後間もないが、どのような取り組みをされているか。

答 滝花企画財政課長 各課長より平成十一年度から五カ年間の事業計画について説明を受けた段階である。

厳しい財政状況の中で事業選択をし、いかに夢のある町づくりができるか、健全化のためにはどうすることがベターか検討していきたい。

健全化の具体的な取り組みは

行政改革検討委員会
と行政改革調査会の
二つを設置したい
(滝花企画財政課長)

問 財政健全化のため、検討委員会の意見も町内の有識者の意見を聞くことも方向

として大事なことはないか。
答 滝花企画財政課長 職員による行政改革検討委員会と有識者による行政改革調査会を設置し、財政部門が特に急がれるので、意見集約をし、来年度予算に反映したい。

農業振興対策を問う

問 本町農業の課題と対応について。

答 戸川産業振興課長 経営面積が小さく急傾斜しかも点在しており、高齢化が進む中で、いかに近代化、基盤整備を進めみかんを中心にどう発展させるか。販売面も今後の課題である。

問 もうかる農業への試みとして、農繁期にいか

に家族以外の人手を確保するか、面積を縮小し秀品率を高めることも一つではないか。

答 戸川産業振興課長 近代化、基盤整備が先決でファームサービスも検討する時期にきている。

問 川口町長からは、農業振興計画の見直し等々の旨発言があったが、課長はどう受け止め、どう対応するか。

答 戸川産業振興課長 J A部会、個選農家等各分野の方々と協議し新しい方向へ環境づくりをしたい。実態調査をする等意見を取りまとめた。

兼業農家対策を急げ

問 やる気のある農家にとりうたえるか。

答 戸川産業振興課長 専業農家はもちろん七百五十六戸の兼業農家対策も重要。近代化とか流動化等セツト的補助金制度も検討したい。



スピード、スプレー（SS）による省力化

環境ホルモン

給食センター食器は

心配ないか

検査はしていない（西野給食センター所長）

原田昭三 議員



まれており、これは、人体に悪影響を及ぼすといわれている。食器の検査をしたことはあるか。

西野給食センター所長 ビスフェノールAは、身体の中にはいると女性ホル

給食食器から環境ホルモンが溶け出していたという新聞報道があったが、給食センターではどのような食器を使っているか。

西野給食センター所長 平成九年度から、ポリカーボネイトの食器を使って

ポリカーボネイトには、ビスフェノールAが含



給食センター

モンの働きをし、メス化させると言われている。給食センターの食器について検査したことはない。県に聞いてみたところ、厚生省は「基準内である」と言っているので、現在のところ使用中止の考えはない。

厚生省が心配ないと言ったというが、エイズの薬害事件においても手遅れになった。信用はできない。安全が確認されるまで、使用中止すべきではないのか。

川口町長 国が実態調査をすると言っているので、調査の結果を見てから考えたい。

中山地区の山中に産業廃棄物が投棄されているが、「水道水源の上であり、環境への影響はないのか」という心配の声がある。どうなのか。

水源上流への産廃投棄の規制を

桂木環境課長 県が現場で三カ所の土を採取し、検査に回しているところである。

今後、水道水源の上流において、産業廃棄物の投棄を規制する必要があるのではないか。

桂木環境課長 産業廃棄物の規制は、県の所管となっている。保健所と相談しながら監視していきたい。

幼稚園は設置

できるのか

入田教育委員会事務局 長 小学校の空き教室を使って併設するか、または、幼稚園と保育所の一元化という方法になるか、両方について検討している。

町長の考え方はどうか。

川口町長 教育委員会とよく相談の上で設置していきたい。

畜産の悪臭をどうするのか

生名地区において、畜産による悪臭がひどいので、どうにかならないかという声が最近また、多数ある。この悪臭対策は。

川口町長 徳鳥家畜保健衛生所に見きてもらって、指導を受けている。

戸川産業振興課長 本人とも話をしたが、今のところ畜産団地への入植は考えていないということである。

川口町長 今後、粘り強く移転の方向で進めていきたい。



横瀬小学校

教育委員会は、幼稚園を設置したいと言っていたが、その後の進みぐあいは。

介護保険 認定は市町村

不安いっぱい 事前の準備は

森 健 議員



ネージャー)の実務試験に職員が一人が受験する予定である。

問 実施に当たり本町の人口、高齢化率、財政規模等から考えて広域連合や一部事務組合はその考えの中に入るか。

答 光井福祉課長 本県では介護認定審査会の共同設置について検討されている。

本町においても本年度百人の試行事業がある。認定事務を試み、勝名地区町村で共同設置について検討する。

問 寝たきりや痴ほうとなつて、家族だけでは支えきれない人の介護を、社会全体で支えていくことをねらいとした介護保険制度が二年后に始まる。実施前の現段階における準備等は、どのようなになっているか。

答 光井福祉課長 介護保険制度については、福祉課が担当しており、市町村が取り扱う事務は十項目におよび大変膨大である。介護保険のための専任職員が必要と思っている。十月には一回目の介護支援専門員(ケアーマ

からみて、これらのことをどのように考えているか。

答 松浦教育長 幼児教育には、それぞれ目的があり、保育所、幼稚園、小学校と進むのがよいと考えている。

問 坂本小学校併設の幼稚園の閉校後のゆくえ、幼保一元化、教育を受ける機会均等、保護者負担等どう考えるか。

答 松浦教育長 坂本小学校閉校後は、各保育所に設置できれば一番よいと考えている。国のほうでも幼保

これからの幼児教育と、町立幼稚園、および幼保一元化制度について

問 入学前の幼児に就学をスムーズにするための施設で、本町では目的は異なるものの幼稚園、保育所の二通りがある。教育という観点

からみて、これらのことをどのように考えているか。



幼稚園と保育所の併設が望まれる

一元化、施設の共用化等が言われている。町としてもその方向で県へも相談している。

教育を受ける機会の均等、職員の交流等は全町的に考える。保護者負担については原則現行通りとなるが、幼稚園居残り保育については別負担となる。

教育上のこと、財政上のことも含めて、今検討している。

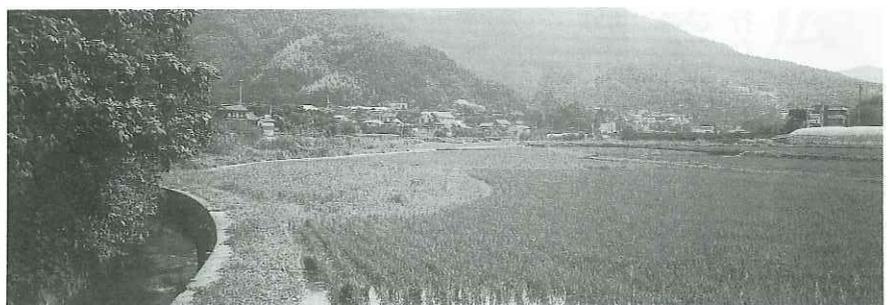
掛谷地区水田 水被害解消のための対応について

問 勝浦川増水時にいろいろなこと起因する被害が出ている。抜本対策として区画整理事業を想定したアンケート調査要望がある。

答 石尾耕地課長 主旨は十分理解できる。同地区は掛谷川河川改修の地域に入っている、その様子を見てから判断したい。

問 河川改修、災害復旧等土木サイドでは抜本的な解決策にならない。区画整理事業のなかで総合的に対応すべきと思うが、どう考えるか。

答 川口町長 基盤整備、区画整理事業は町発展



区画整理事業が待たれる掛谷地区水被害水田

のため必要である。総合的に対応すべきと考えている。

答 石尾耕地課長 今後は各課調整を図りながら進めることが必要と考える。

問 UR対策タイムリミットもある。積極的に取り組むべきだ。

答 川口町長 厳しくなることは確かだ。財政事情もあるが、前向きに計画してみる。

曲がりなりにも二車線化？

県道の改良計画は

どうなっているか

六カ所の改良計画がある（秋本土木課長）

神原 忍 議員



問 徳島など市内へ通勤する人が増えている。県道が改良されることは、大きな過疎対策の一つになると思うが、今後どのような改良計画があるのか。

答 秋本土木課長 横瀬橋とその周辺に予算が集中していたが、それが終わると町内で二カ所、徳島市管轄内で四カ所の改良計画がある。

○ 中角から西岡の区間

県はこの区間、曲りなりにも二車線化できていると考えている。しかし、地元では場整備の計画があり、その中に新しい県道バイパスを入れて計画してもらっている。

○ 柳原附近—— 水害防護壁との関連があるが、現在図面作成中である。

○ 飯谷附近—— 用地交渉でやっと話し合いにに応じてくれたところである。

○ 鳴滝附近—— 境界線の問題などでまだ時間がかかる。

○ 沖野附近—— ほ場整備をした時に用地は確保されている。しかし対岸の本村地区がほ場整備（十一、十二年施工）を完了し、河岸が寄せられてから路面のかさ上げがされる。

○ 高良神社から岩場の附近—— 今までより話し合いに

明るい見通しがあり、六月中に地元説明会が開かれる。川口町長 県、市側とも実情を十分に話し合い、県道の改良には一層努力する。

子供達に物をつくる楽しさを

問 近頃、小・中学生が刃物を使っておこすせい

惨な事件が多くナイフなど持たせないようにしようというニュースをよく聞く。

刃物を持たせないことにすると物をつくる喜びなどセーブすることにならないだろうか。



研ぎ方の練習をする横小生（大久保工場にて）

また、和歌山の「子どもの国学園」のように全寮制の小学校で、一人ひとりの時間割を子供自身に作らせ、創作や実験をのびのびやらせるなど、新しい試みをしているところもある。

答 勝浦町教育委員会では、情操教育や生活の実技指導について、どのような方針か。松浦教育長 勝浦町の各小・中学校が、平成九・十年度の二年間、「伝統文化の教育推進事業」の指定を受けた。その内容は、伝統文化の学習を通し、郷土のよさを知り、さらに、郷土をよりよくする心を培うことを目的としている。

勝浦町の各小・中学校では人形浄瑠璃を習っている。また、坂本小では浦安の舞など、横小では大久保の鍛冶屋見学、生小では瓦工場の見学をするなど、地域文化を勉強している。農作業の実技指導も種々行なわれている。



せばり網であゆとり実習をする横小生（勝浦川八石にて）

難病患者を町が援助せよ

前向きに検討する（川口町長）

井出幸夫 議員



答 川口町長 大変だなあと心を痛めている。趣旨はよくわかる。財政面も考えながら前向きに検討してみたい。

農村舞台の保存対策は

問 今山地区の農村舞台は、大正四年、のべ三百三十五人の出役と、四十一円七十五銭の寄付金によって建設

答 川口町長 価値あるものは、町が保存管理などの支援をしていきたい。

されたという記録が残っている。この舞台は、どのような価値を持つものか。保存対策は。

答 入田教育委員会事務局 長 農村舞台は、県下に百三十六棟あり、県指定文化財として犬飼と坂州（木沢村）、町村指定として上那賀町に二つある。今山の農村舞台は、原形に近い形で残っており、貴重なものだ。

子どもたちの虫歯が非常に多い

子どもの虫歯が非常に多い

効果的方法を検討する
(光井福祉課長)

問 子どもたちの虫歯の率が非常に高い。(表参照) 歯の保健についての取り組みは。

答 光井福祉課長 十年度から、一歳半、三歳児検診の時に、母親も一緒に歯科医師による検診を行う。保育所、小・中学校の検診を



今山地区の農村舞台

二回に増やして実施する。夏に、講演会も予定している。

問 家族ぐるみで歯の健康についての意識を高めたいことが大事。総合検診の中に、歯の検診を入れてはどうか。

答 光井福祉課長 母子保健計画の推進委員会でも、効果的な方法を検討していきたい。

建設業退職金制度の指導は

百万円以上の工事を対象に
(秋本土木課長)

問 建設業退職金共済制度の普及と業者への指導についてどのような取り組みをしてきたか。

答 秋本土木課長 入札会のために、掛金収納書を確認し、業者指導をしてきた。今年度から、契約金百万円以上の発注工事について、制度を活用するよう業者指導することになっている。業者もよい制度だと受け止めているようであり、今後、手帳を持っている労働者の人数も把握していきたい。

建設業退職金共済制度

一人親方をはじめすべての建設労働者が対象の退職金制度。働いた日数分の証紙を共済手帳に貼ることによって、掛金が加算され、退職金が支給される。公共工事では、元請けに証紙購入の義務。

子どもの虫歯（9年度） 数字は%

| | 横瀬小 | 生比奈小 | 坂本小 | 県平均 | 勝浦中 | 県平均 |
|-----|------|------|------|------|------|------|
| 虫歯率 | 84.8 | 92.1 | 83.0 | 90.0 | 98.1 | 86.0 |
| 未処置 | 42.1 | 48.3 | 44.7 | 53.9 | 87.7 | 41.8 |

あれはどうなった本会議答弁

畜産公害、町道補修、

ダイオキシンの調査

西浜勝己 議員



協議され、具体化されているのか。

③ クリーンセンターのダイオキシン調査の日程は。

答 戸川産業振興課長 立川地区の畜産公害については、二月末日までに解決すべく作業を進めてきたが、浄化槽施工ミスがあり、大変申し訳ない。補修作業中であり、今しばらくお待ち願いたい。地元関係者に事情を説明したい。

答 秋本土木課長 畑総事業に伴う町道補修等については、県単特別枠でお願いしたいと思っているが厳しい。駄目な場合は町単独事業で取り組まなければならぬ。

答 桂木環境課長 ダイオキシン調査は、十月一日実施することに決定。

問 本会議における質問に対して、町長以下各理事者が答弁しているが、その後の対応はどうなっているのか。いくつかの点にしぼって答弁を求めます。

① 畜産公害で口立川地区等に迷惑をかけている。二月末までに解決すると明言されたが、未解決だ。原因は。

② 畑総事業に関連して、町道の補修改良が必要な箇所についての点検と解決策について、その後どのように

更に拡げよう 交流の輪―ふるさと会

問 近畿かつうらふるさと会第五回総会が、去る五月十七日、大阪ニューコクサイホテルで、また、関東阿波かつうら会第二回総会が、六月六日、東京大丸デパートで開催された。大変盛会裏に、

答 川口町長 予算を含めて今まで通りのことは



盛会な関東阿波かつうら会総会

しなければならぬと思っっている。将来的には自主独立でいけたらなあ……と思っ

答 戸川産業振興課長 今回課長として、はじめて出席して感じたことは町出身の方が、県外でも活躍されていることに感動した。今後も交流の場を持ちたい。

反省点として、多忙であり総会当日の席の周知が十分でなかったことともう少しふるさと便りが必要だと思っ

横瀬橋下

河川敷使用を拡大せよ

県と協議に入りたい

(秋本土木課長)

問 子どもの遊び場として棚野子ども会が河川敷を借りているが、新横瀬橋完



子どもの遊び場を広げよう



8月3日開通式の新横瀬橋

答 秋本土木課長 趣旨にそうよう速やかに県と協議に入りたい。

みかん産業振興計画の

具体化について

中西晴美 議員



振興事業で一千三百五十万円、
県単独園内作業道新設舗装補
助金四百八十四万円他である。

地籍調査課の設置 と同対課の廃止を

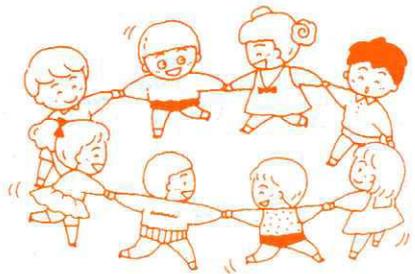
問 同和对策課の業務は、
二戸の公営住宅建設で
終わる。その他は一般行政で
できる。この職員を地籍調査
課に配置すべきだ。人件費以
外は国が大部分出してくれる
ので、早急に設置すべきだ。

答 川口町長 同和对策課
の廃止は必要だが、同
和団体が法期限までおいてく
れというので、今すぐにはで
きない。地籍調査課の必要性
やメリットは認識しているが、
今すぐにはできない。

問 十年度当初予算で、み
かん産業振興に約四千
万円投資したというが、具体
的に何の事業にいくら張り付
けたか。一千戸ある農家に
どの程度投資効果上がるか。

答 川口町長 予算は、み
かん産業の振興にでき
るだけ配慮した。基盤的整備
についても、きめ細かい行政
をした。

答 戸川産業振興課長 ス
プリンクラーなどの県
単独地域農業振興事業補助金
で一千四百二十四万円、モノ
レールなどの町単独地域農業



高齢化・少子化の 進行と福祉、財政問題

問 町民七千三百人中、六
十五歳以上の高齢者数
と比率は。一人当たりどのく
らいの町財政負担か。十五歳
から四十九歳までの、いわゆ
る社会通念上の子どもを産め
る女性の数は。

答 少子化を解消するため、あ
る町村では一人生まれると三
十万円の祝い金を支給してい
ると聞くが、勝浦町は、祝い
金、奨学金など子育て支援策
としてどのような長期計画を
もっているか。

問 光井福祉課長 十年三
月末現在、六十五歳以
上の人口は一千八百九十七人
で二六・四％。十二年推定で

答 岡本住民課長 町内に
おける十五歳から四十
九歳までの女性の数は、一千
三百八十四人である。
子育て支援として、県内三
カ所の施設で、短期的な保育
の委託契約をしている。また
生比奈保育所で毎週金曜日ま
だ入所していない子どもの相
談にのる教室を設けている。
また、今ある奨学金制度を大
いに活用してもらいたい。

一千九百九十四人、二七・八
九％。高齢者に対する町財政
負担は一人当たり八万七千円
である。子育て支援として、
三歳未満児の医療費の無料化
などを行っている。

問 勝浦町は、三年後には
公債費比率が二〇％を
越え、県下一財政の悪い町村
になる見込みだというが、財
政改革はどのようにするのか。

答 滝花企画財政課長 減
債基金積立てによる繰
上償還や低金利への借り替え
などで健全化を計りたい。

財政健全化について

問 倉橋税務課長 八年度
四億八千九百万円、九

問 川口町長は、議会答弁
や町民との約束事がコ
ロコロ変わるが、そのような
ことでは困る。約束は守って
もらいたい。

答 川口町長 力のないと
ころは認めつつも、私
なりに約束したことは実行で
きるようがんばっている。

町長の政治姿勢 について

年度四億八千九百万円、十年
度は見込み額で四億五千八百
万円、ただし、特別減税三千
四百十万円は差し引きしてい
ない。



まちづくりのために

勝浦町商工会々長 坪井 一



平成元年、商工会会長職を拝命して早や十年がたちました。この年は勝浦町および会員のあたたかいご協力により現在の商工会館が竣工した年でもありました。この間、議会の皆さんはじめ関係各位の一方ならぬご指導をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、現在の商工会の会員は二百四十九名で組織率七十八%という状況です。企業経営の合理化、金融の斡旋、税務記帳指導、各種講習会、研修会、福利厚生面の指導他、経営改善普及事業を柱に、積極的に事業に取り組んでおります。また一方では、地域発展の担い手として町との連携を深めつつまちづくりの大きな役割を果たすべく努力していきたくと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。「議会だより」のご発展を心からお祈り致します。

インタビュー

議会が身近に

すだちレディー 近藤育美さん(21歳) 西岡



結婚後はどこで住みたいですか。
☆生まれたいところでもあるし自然がいっぱいで結婚しても勝浦で住みたいです。

応募のきっかけは。
☆あまり関心はありませんでしたが、母親にすすめられて。

——そろそろ適齢期。結婚については……。
☆二十五才位までには良い人があればしたいな……。親は本人まかせにしてくれます。

——議会広報「かつうら」創刊号から三号まで、目を通していただいた感想は。
☆今までは私たちの町でどのような計画とか、問題が起こっているのか分からなかったけれど、少し理解ができました。感じられるようになりました。

——議会広報「かつうら」創刊号から三号まで、目を通していただいた感想は。
☆今までは私たちの町でどのような計画とか、問題が起こっているのか分からなかったけれど、少し理解ができました。感じられるようになりました。

議会のうごき

5 月

- 7～8日 議会広報調査特別委員会
- 14～15日 議会広報研修会
- 15日 議会運営委員会
- 17日 近畿かつうらふるさと会総会
- 20日 厚生常任委員会
- 21～22日 全国町村議会議長研修会
- 26～28日 勝名地区町村正副議長県外視察研修
- 29日 平成10年第2回臨時議会、全員協議会

6 月

- 1日 県道阿南・和食・勝浦・鶴林寺線期成同盟会総会
- 3日 産業建設常任委員会
- 4日 議会運営委員会
- 5日 総務常任委員会
- 6日 関東阿波かつうら会総会
- 9日 6月定例議会開会、全員協議会
- 16～18日 6月定例議会再会、一般質問
- 19日 6月定例議会再会、議案審議
- 22日 6月定例議会再会、議案審議閉会

7 月

- 2～3日 議会広報調査特別委員会先進地視察研修
- 7日 総務常任委員会
- 10日 議会広報調査特別委員会
- 17日 議会広報調査特別委員会
- 22日 総務常任委員会先進地視察
- 23日 議会広報調査特別委員会
- 24日 星谷農免道路竣工式
- 25日 あゆまつり、ふるさと会員との交流会
- 29日 鷲敷町議会視察来町(議会運営および議会広報について)
- 31日 議会広報調査特別委員会

編集後記

ある方曰く、「議会だよりは化粧しすぎだ。質問も答弁もカッコよすぎる」

実際の議会を傍聴した方からの痛烈な感想でした。そうかもしれない……。

私たちは、開かれた議会を目ざしてこの議会だよりの発行を決めました。町民の皆さんに議会を知ってもらうための一つの窓です。議員が住民の感覚で議論しているかどうか、チェックする手段でもあります。

しかし、すべては伝えられません。何ともあれ、百聞は一見に如かず。あなたもぜひ一度「素顔の議会」をご覧くださいませんか。

言葉は上手でなくても気持ちのこめられた質問や、厳しい追及に戸惑う理事者の表情など、カッコはよくないが、生きた議会がありますよ。傍聴は自由です。気安くのぞいてみてください。(幸)

